

経済社会総合研究所の概要と実績

(2017年4月～2018年10月)

1. 所掌事務等

経済社会総合研究所は、内閣府のシンクタンクとして、主に以下の任務に取り組んでいます。

- ・経済の全体像を体系的に記録することを目的に、GDP（国内総生産）に代表される国民経済計算体系（SNA：System of National Accounts）の推計作業を行い、四半期別GDP速報（QE：Quarterly Estimates）及び年次推計を公表するとともに、CI（景気動向指数）等の景気統計を作成・公表
- ・マクロ経済や生産性、SNA等の経済統計等を中心とした、経済社会活動に関わる実証的な研究
- ・政策分析のための手法等の研修を通じ、政策の企画や実施を担う人材を育成

こうした取組を通して、証拠に基づく政策立案（EBPM：Evidence-Based Policy Making）の推進に貢献します。

2. 主な研究報告

(1) 『経済分析』

- 第197号 「経済分析 第197号」 2018年3月
第196号 「経済分析 第196号（特別編集号）」 2017年12月
第195号 「経済分析 第195号（特別編集号）」 2017年10月
第194号 「経済分析 第194号（特別編集号）」 2017年5月

(2) ESRI Discussion Paper

- No. 347 The Effect of Inheritance Receipt on Individual Labor Supply: Evidence from Japanese Microdata
新関 剛史、堀 雅博 2018年7月
- No. 346 Dissaving by the elderly in Japan: Empirical evidence from survey data
村田 啓子 2018年3月
- No. 345 計量テキスト分析による景気判断-コーディングルールや主成分を使った時系列分析-
山澤 成康 2018年3月
- No. 344 Current Account Dynamics under Information Rigidity and Imperfect Capital Mobility
柴田 章久、新谷 元嗣、敦賀 貴之 2018年2月
- No. 343 What Do Microsimulations Tell Us about Fiscal Costs of the Newly Launched Income Contingent Loans in Japan?
河越 正明、伊藤 由樹子、高良 真人 2018年1月
- No. 342 Does the Policy Lending of the Government Financial Institution Mitigate the Credit Crunch? Evidence from the Loan Level Data in Japan
関野 雅弘、渡部 和孝 2017年11月
- No. 341 構造変化の下での景気循環の動向：「定型化された事実（Stylized facts）」の再検証
浦沢 聡士 2017年10月
- No. 340 Living Arrangements and Family Formation in Japan
高山 直樹 2017年10月
- No. 339 Housing Wealth Effects in Japan: Evidence Based on Household Micro Data
堀 雅博、新関 剛史 2017年9月
- No. 338 India in the World Economy: Inferences from Empirics of Economic Growth
佐藤 隆広 2017年4月
- No. 337 日本の子どもの貧困分析
明坂 弥香、伊藤 由樹子、大竹 文雄 2017年4月

(3) 研究会報告書等

- No. 78 「シェアリング・エコノミー等新分野の経済活動の計測に関する調査研究」報告書概要
2018年7月
- No. 77 教育の質の変化を反映した価格の把握手法に関する調査研究 報告書
2018年3月

3. フォーラム・ワークショップ

(1) ESRI—経済政策フォーラム（内閣府フォーラム）

第54回 消費の現状と展望～なぜ消費は伸び悩むのか～ 2018年6月開催

イントロダクション：個人消費の現状と展望

西崎 文平 内閣府経済社会総合研究所長

マイクロデータで見た我が国世帯の消費動向

報 告：堀 雅博 内閣府経済社会総合研究所上席主任研究官

パネルディスカッション：少子高齢化時代の家計消費とその展望

コーディネータ 吉川 洋 立正大学教授

パネリスト 宇南山 卓 一橋大学経済研究所准教授

長内 智 大和総研経済調査部シニアエコノミスト

斎藤 太郎 ニッセイ基礎研究所経済研究部経済調査室長

堀 雅博 内閣府経済社会総合研究所上席主任研究官

第53回 GDP統計改革のフロンティア

～GDP統計における新たな推計アプローチの開発と新分野の経済活動の計測に向けて～

2018年1月開催

イントロダクション：現代の3Cが問うもの

西崎 文平 内閣府経済社会総合研究所長

基調講演：日本経済の構造変化とGDP統計の改善

宮川 努 学習院大学教授

第一部：サービスの質向上や新分野の計測に向けた研究について

モデレーター 櫻本 健 立教大学准教授

発表者 市川 恭子 内閣府経済社会総合研究所上席主任研究官

鈴木 晋 内閣府経済社会総合研究所主任研究官

吉岡 真史 内閣府経済社会総合研究所上席主任研究官

第二部：GDP統計の精度向上に向けた推計方法の改善について

モデレーター 中村 洋一 法政大学教授

発表者 長谷川 秀司 内閣府経済社会総合研究所総括政策研究官

二村 秀彦 内閣府経済社会総合研究所国民経済計算部長

(2) 国際フォーラム・国際シンポジウム等

ESRI 国際コンファレンス「より良い政策形成のためのより良い計測」2018年7月開催

基調講演：先進国における計測上の課題：米国の所得・消費動向から学ぶ

講演者：ケビン・ハセット 米国大統領経済諮問委員会(CEA)委員長

セッション1：景気循環は世界金融危機後に変化したか、

景気基準日付設定にどのような影響をもたらすのか

議長：西崎 文平 内閣府経済社会総合研究所長

発表者：浦沢 聡士 内閣府経済社会総合研究所国民経済計算部国民支出課長

間 真実 内閣府経済社会総合研究所景気統計部研究専門職

討論者：マーク・ワトソン プリンストン大学教授

セッション2：サービス業・デジタル経済の成長は新たな計測上の課題を生み出しているか

- 議 長：清家 篤
 発表者：チャールズ・ビーン
 討論者：西村 清彦
 セッション3：より良い生産性の計測のために何が出来るか？
 議 長：ア Nil・カシャップ
 発表者：チャド・シバーソン
 討論者：杉原 茂
 セッション4：より良い政策形成のためのより良い計測に関するパネル・ディスカッション
 コーディネータ：アラン・オーエルバッハ
 パネリスト：ケビン・ハセット
 伊藤 元重
 西村 清彦
 チャールズ・ビーン
 内閣府経済社会総合研究所名誉所長
 ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス教授
 統計委員会委員長
 シカゴ大学教授
 シカゴ大学教授
 政策研究大学院大学教授
 カリフォルニア大学バークレー校教授
 米国大統領経済諮問委員会 (CEA) 委員長
 学習院大学教授
 統計委員会委員長
 ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス教授
- 景気動向指数に関するセミナー 2018年8月開催
 司 会：松多 秀一 経済社会総合研究所景気統計部長
 基調講演：米国景気循環の安定性？金融危機不況からの景気回復の遅れ
 講 演 者：ジェームズ・ストック ハーバード大学教授
 討 論 者：宮尾 龍蔵 東京大学大学院教授

ESRI 国際コンファレンス「世界的な低成長と政策対応」2017年8月開催

開会挨拶

セッション1：財政政策の効果

- 議 長：西崎 文平
 報告者：敦賀 貴之
 堀 雅博
 討論者：ジャスティン・ウォルフアーズ
 内閣府経済社会総合研究所長
 京都大学大学院経済学研究科准教授
 内閣府経済社会総合研究所上席主任研究官
 ミシガン大学教授

セッション2：日本の財政状況

- 議 長：アラン・オーエルバッハ
 報告者：デビッド・ワインシュタイン
 討論者：加藤 久和
 カリフォルニア大学バークレー校教授
 コロンビア大学教授
 明治大学教授

セッション3：女性の活躍

- 議 長：ア Nil・カシャップ
 報告者：ベッツィー・ステイーブンソン
 討論者：八代 尚宏
 シカゴ大学教授
 ミシガン大学准教授
 昭和女子大学特命教授

セッション4：世界的な低成長と政策対応に関するパネル・ディスカッション

- コーディネータ：清家 篤
 パネリスト：オースタン・グールズビー
 伊藤 元重
 岩田 一政
 ア Nil・カシャップ
 内閣府経済社会総合研究所名誉所長
 シカゴ大学教授
 学習院大学教授
 日本経済研究センター理事長
 シカゴ大学教授

4. 研修実績

2018年度（※一部予定を含む）

- 2月 アンケート調査実践セミナー
 11-12月 DSGE モデル実習
 11-12月 EBPM 入門
 11-12月 時系列分析実習

11-12月	Excel (マクロ/VBA) 応用 (第2回)
10月	パネル分析実習
10-11月	Excel (マクロ/VBA) 初級 (第2回)
9-12月	Excel 基礎 (第2回)
9-10月	計量経済分析入門 (第2回)
6月	SNA ステップアップ
6月	Excel (マクロ/VBA) 応用 (第1回)
6月	季節調整法研修
5-6月	計量経済分析入門 (第1回)
5-6月	Excel 基礎 (第1回)
5-6月	Excel (マクロ/VBA) 初級 (第1回)
5月	GDP を学ぶ
通年	「経済財政セミナー」「政策分析セミナー」

2017年度

12月	EBPM 入門
11-12月	時系列分析実習
10月	Excel (マクロ/VBA) 応用 (第2回)
10月	パネル分析実習
9-10月	Excel (マクロ/VBA) 初級 (第3回)
9-11月	Excel 基礎 (第2回)
9-11月	計量経済分析入門 (第2回)
7月	国民経済計算 (SNA) 作成入門
6-7月	Excel (マクロ/VBA) 応用 (第1回)
6月	季節調整法研修
6月	国民経済計算 (SNA) の基礎
5-6月	Excel (マクロ/VBA) 初級 (第2回)
5-6月	アンケート調査実践セミナー
5-6月	計量経済分析入門 (第1回)
5月	Excel (マクロ/VBA) 初級 (第1回)
5-7月	Excel 基礎 (第1回)
通年	「経済財政セミナー」、「政策分析セミナー」

5. 国際共同研究プロジェクト

<平成29・30年度国際共同研究プロジェクト>

「国際共同研究『潜在成長力の強化と経済の活性化に向けた課題』」

(経済の活性化：我が国企業と家計が直面する構造的な課題) 報告会 2018年10月開催

開 会

主催者挨拶：西崎 文平

内閣府経済社会総合研究所長

主査挨拶：塩路 悦朗

一橋大学大学院経済学科研究科教授

セッション1「高齢者の遺産動機と貯蓄行動：日本の個票データを用いた実証分析」

発表者：濱秋 純哉

法政大学経済学部准教授

堀 雅博

一橋大学国際・公共政策大学院教授

討論者：新見 陽子

公益財団法人アジア成長研究所准教授

セッション2「Abenomics, the Housing Market, and Consumption」

発表者：宇南山 卓

一橋大学経済研究所准教授

Joshua K. Hausman

ミシガン大学公共政策学部・経済学部助教

Johannes F. Wieland

シカゴ連邦準備銀行

	討 論 者：チャールズ・ユウジ・ホリオカ	アジア成長研究所副所長・教授
セッション3「堅調な企業収益と低調な設備投資のパズル」		
	発 表 者：田中 賢治	日本政策投資銀行設備投資研究所副所長
	討 論 者：小川 一夫	関西外国語大学外国語学部教授
セッション4「日本企業の海外企業買収と企業構造の質的变化」		
	発 表 者：鯉淵 賢	中央大学商学部教授
	後藤 瑞貴	一橋大学大学院経済学研究科修士課程
	討 論 者：花崎 正晴	一橋大学大学院経営管理研究科教授
セッション5「Cash Holdings: Evidence from Firm-Level Big Data in Japan」		
	発 表 者：宮川 大介	一橋大学大学院経営管理研究科准教授
	細野 薫	学習院大学経済学部教授
	滝澤 美帆	東洋大学経済学部教授
	討 論 者：小野 有人	中央大学商学部教授
セッション6「Uncertainty, Investment and Cash Holding」		
	発 表 者：千賀 達朗	ロンドン大学クイーン・メアリー経済学部助教授
	討 論 者：大津 敬介	慶應義塾大学商学部准教授
講 評	塩路 悦朗	一橋大学大学院経済学学科研究科教授
閉 会	西崎 文平	内閣府経済社会総合研究所長
「国際共同研究『潜在成長力の強化と経済の活性化に向けた課題』 (潜在成長力の強化：人材・人的資本とイノベーション) 報告会 2018年10月開催 開 会		
	主催者挨拶：西崎 文平	内閣府経済社会総合研究所長
	主査 挨拶：川口 大司	東京大学大学院経済学研究科教授
セッション1「コーポレートガバナンス構造の変化と人的資本投資」		
	発 表 者：北川 章臣	東北大学大学院経済学研究科教授
	討 論 者：太田 聡一	慶應義塾大学経済学部教授
セッション2「認知能力・非認知能力スコアを用いた人材活用」		
	発 表 者：乾 友彦	学習院大学国際社会科学部教授
	児玉 直美	日本大学経済学部教授
	横山 泉	一橋大学大学院経済学研究科准教授
	園田 友樹	株式会社リクルートマネジメントソリューションズ アセスメント開発部長
	討 論 者：大湾 秀雄	早稲田大学政治経済学術院教授
セッション3「企業内部の能力形成とその効果—OJTとOFF-JTの相乗効果に関する分析」		
	発 表 者：戸田 淳仁	Sansan 株式会社、慶應義塾大学産業研究所研究員
	討 論 者：原 ひろみ	日本女子大学家政学部家政経済学科准教授
セッション4「大学と大学院の専攻の賃金プレミアム」		
	発 表 者：安井 健悟	青山学院大学経済学部准教授
	討 論 者：佐野 晋平	千葉大学大学院社会科学研究院准教授
セッション5「日本の労働市場におけるミスマッチの測定」		
	発 表 者：川田 恵介	東京大学社会科学研究所准教授
	討 論 者：勇上 和史	神戸大学大学院経済学研究科准教授
セッション6「両立支援と柔軟な働き方：女性の活躍との関係」		
	発 表 者：黒澤 昌子	政策研究大学院大学教授
	討 論 者：阿部 正浩	中央大学経済学部教授
講 評	川口 大司	東京大学大学院経済学研究科教授
閉 会	西崎 文平	内閣府経済社会総合研究所長

6. その他

(1) 学会等における報告

2018年

9月 鈴木 俊光, 赤木 茅, 鈴木 晋, 吉岡 真史, 山岸 圭輔 (内閣府経済社会総合研究所)

「先進主要国における分配QNA推計の実施状況とその位置づけ」(鈴木)

「産業連関表の行部門統合に係る影響の検証」(赤木)

「教育の質の変化を反映した実質アウトプット・価格の把握」(鈴木)

「シェアリング・エコノミー等新分野の経済活動の計測に関する調査研究」(吉岡)

「法人企業統計を用いた営業余剰の推計」(山岸)

経済統計学会第62回(2018年度)全国研究大会

6月 吉岡 真史 (内閣府経済社会総合研究所)

特別セッション: シェアリング・エコノミーのGDP統計への反映(内閣府・日本経済学会共催)

「シェアリング・エコノミー計測の論点: 民泊を例として」(吉岡)

パネル討論 座長 中島 隆信 慶應義塾大学

討論者 宇南山 卓 一橋大学

櫻本 健 立教大学

山澤 成康 跡見学園女子大学

吉岡 真史 内閣府

渡部和孝(内閣府経済社会総合研究所)

金融実証「Contrarian Trades and Disposition Effect: Evidence from Online Trade Data」

座長 川口 大司 東京大学

報告者 宮川 大介 一橋大学

駒井 隼人 VRI Inc.

古谷野 良太 VRI Inc.

討論者 渡部 和孝 内閣府

日本経済学会2018年春季大会, 神戸

1月 浦沢 聡士 (内閣府経済社会総合研究所)

「ダイナミック・ファクター・モデル(DFM)を用いた景気推定とリアルタイム分析への応用」

「景気動向指数の改善に関する調査研究」第3回有識者研究会

2017年

12月 浦沢 聡士 (内閣府経済社会総合研究所)

「構造変化の下での景気循環の動向: 「定型化された事実(Stylized facts)」の再検証」

景気循環学会, 東京

6月 吉岡 真史 (内閣府経済社会総合研究所)

「戦後日本の高度成長期の研究: 経済計画の役割」国際開発学会, 神戸

(2) 外部学術誌への掲載論文

浦沢 聡士 (内閣府経済社会総合研究所)、笠原滝平 (大和総研)

「経常収支にみられる構造的な変化: インバウンドの実証分析」

一橋大学経済研究所『経済研究』第68巻第3号, 2017年7月, pp. 250-263. (査読有)